radio Camnetに続くマガジン版

雲心月性

大槻ワールドへようこそ



Camnet マガジンをお楽しみの皆様。マガジン版「雲心月性」です。大槻は岡山県真庭郡新庄村の内科診療所で一人医師として勤める 6 度目の季節（単身赴任中）。自然や音楽と向き合いながら、過ぎ行く時を楽しんでいます。コラムは二か月分でリアルタイムではなく、一年前（2025 年）のメモリーをお届けします。



11 月の初旬、ふれあい公園で見かけたカリンの実。



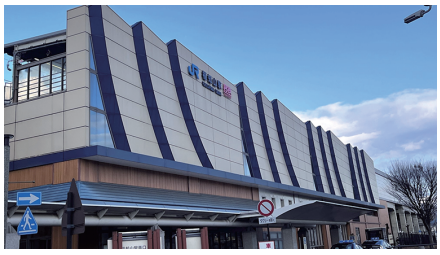
左端でピアノを弾いています。バンド名「げーじゅー☆らいだーず」。岡山のロック系のライブハウスの周年祭での演奏風景です。



旧岡山県哲西町大竹と東城町福代の間。奥が南なので右手が備後、左は備中、国境を股にかけて。



京都府福知山市石原（イサ）の曹洞宗金光山洞玄寺‥仏事でした。長男と永大供養塔の前で。



京都府福知山市は大槻の郷里。0 ～ 5/10 ～ 15 歳と過ごしました。その頃とは見違えるような JR 福知山駅南口。



旧岡山県作東町は英田郡土居町・江見町・粟井村・福山村・吉野村が昭和 28 年に合併。東側の土居町は出雲街道が播磨から美作の国に入って最初の宿場町（最も西が新庄宿です）、東西共に惣門（関門）が設けられた稀有な宿で西惣門が復元されています。



知己の方から頂く大粒のおいしい苺。感謝々々です。



師走も終わりに近づくと新庄村では降雪。そして夜明け前の曙がなんともいえない幻想的な風景を浮かび上がらせてくれます。

さて、ここ何年か、マガジン版はネットラジオ「雲心月性」との連携企画でラジオの各月に違う version のピアノ弾き語りを紹介するサブスクリリース以外の曲の歌詞をマガジンで紹介したり、偶然目に触れた歌詞と作曲依頼を受けていた歌詞（①香る朝　作詞；哀原 深（Aihara Shin）②インフル・コロナをやっつけろ！　作詞：大石智洋（川崎医科大学臨床感染症学教授）を紹介していました。

今年の 4 月号からは上記の①と②と共に、大　槻　の YouTube Channel “Takemi’ s MUSIC” でピアノ弾き語りをしている動画の音声部分を紹介しています。

9 月号からは、それらの音源を毎月 6 曲、ラジオで流させてもらってます。11/12 月にラジオで紹介する楽曲から 2 曲の歌詞を掲載させていただきます。

【ため息のない街(1976.Aug.14. 譜面記載)】

●ため息のない街で　肩寄せる二人 コナゴナの優しさを 抱きしめたままで　傷だらけの風に なぐさめられながら 指先をからめれば 想い出も消える　あゝ　あなたとは　もう どのくらい　サヨナラを積み重ねて　暮らして来たの　愛してきたの●不確かな愛情が この街に似合う　まぶしさは好きじゃない　夜だけがすべて　傷だらけの空が　泣き出せば 倖せ　ため息のない街は　想い出も嫌い あゝ　あなたとは　もう　どのくらい　サヨナラと背を合わせて　暮らしてきたの　愛してきたの

【淋しがり屋 (1976. Jun. 14th. 譜面記載)】

●今日も君は淋しそうに　雨を見つめているの　白い傘で踊っていた　君はどこかへいった　涙色の梅雨空は　明日は消えるだろう もう淋しがり屋の　ふりをしないで　ああ●君はまるであさがおの　白い涙のように　青い風につつまれて　恋をうたっていたの　雨に濡れたあさがおも　もうすぐひらくだろう　もう淋しがり屋を　よそおわないで　ああ●今日も君は淋しそうに　ひとつレモンをかじる　雨の音を子守唄に　いつか眠りにおちる　涙色の夢を見て　突然めざめないで　もう淋しがり屋の　ふりをしないで　ああ

プロフィール　大槻　剛巳（おおつき たけみ）

1956年：京都府福知山市生まれ
1970年：京都府陸上競技大会100mハードル2位・KBS近畿放送AMラジオでリスナーの歌詞採用
1972＆75年：NHKあなたのメロディー出演
1974年：YAMAHAポプコン全国大会（譜面の部）出場
1977年：YAMAHA神戸との連携で楽曲制作依頼
1981～2021年：川崎医科大学血液内科～衛生学
1992～1996年：米国留学（ミネソタ大学＆NIH）
1997＆2024年：岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作・準佳作で「岡山の文学」に掲載
2009年：Camnetラジオ：パーソナリティー開始
2011年：Camnetマガジン：連載開始
2014年：サブスクにて自作自演アルバムリリース開始
2021年：新庄村診療所所長（現職）

♪オリジナルCDプレゼントします！　詳しくはプレゼントコーナーで。